

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	急性リンパ性白血病における骨髄有核細胞数の臨床的意義に関する多施設共同研究
	研究目的	急性リンパ性白血病における移植直前の骨髄有核細胞数と移植後経過の臨床的関連性を調べる研究です。
	研究対象者	2010 年 1 月から 2022 年 2 月までの間に当センター血液内科で初回の造血幹細胞移植治療を受けた寛解の急性リンパ性白血病患者さん。
	研究期間	西 暦 2 0 2 2 年 3 月 2 8 日 ～ 西 暦 2 0 2 5 年 3 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		☐ 血液 ☐ だ液 ☒ 臨床検査データ ☐ 病理組織 ☐ 排泄物 (尿・便) ☐ その他 (記載して下さい) ☐ 毛髪 ☒ 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当 セ ン タ ー 研究責任者	立花崇孝
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市立大学附属病院：貫井淳 横浜市立大学市民総合医療センター：宮崎拓也